

■釧路公立大が2勝目。道学生選手権第5節

第51回北海道学生アメリカンフットボール選手権第5節は9月23日、札幌市円山競技場で1部の1試合を行い、釧路公立大が38-0で室蘭工業大に完封勝ちした。釧路公立大は2勝1分け、室蘭工業大は1勝2敗。第1試合に予定していた2部の北星学園大-札幌学院大は、札幌学院大の棄権により北星学園大の不戦勝となった。北星学園大は1勝、札幌学院大は2敗。第6節は9月28日、札幌市円山競技場で1部の東京農業大-帯広畜産大（午前10時開始）、北海学園大-北海道大（午後1時開始）を行う。

前年準優勝の釧路公立大と同4位の室蘭工業大は、釧路公立大のパス攻撃が炸裂して快勝した。



釧路公立大は第2Q2分、QB中西亮太（4年）からTE林直希（1年）への8ヤードパスで先制すると、同6分にはQB石川諒（2年）からTE砂原悠二（3年）への20ヤードパスで14-0。同11分にもQB中西からTE砂原へ16ヤード弾が決まり、21-0で前半を折り返した。後半も攻撃の手を緩めず、第3Q4分にRB宮川祥瑞（2年）の4ヤードランで28-0、第4Q3分にはKを兼務するOL/DL北館来星（4年）の21ヤードFG、終了間際の同11分にはQB中西からTE林への8ヤードTDが決まり、38-0

とリードを広げた。守備陣もDL北舘が2回、DL蓮井海都（4年）も1回のQBサックを決め、DBを兼ねるQB石川のインターセプトなどで室蘭工業大の攻撃を封じた。

室蘭工業大は第1Q8分、先制点を狙ったQB原田颯太（3年）のパスが、釧路公立大ゴール前でDB石川にインターセプトされて好機を逸した。その後は釧路公立大の強力守備の前にラン、パスとも思うようにゲインできず、敵陣に攻め入ることもままならなかった。

釧路公立大の伊藤祐介HCは「（0-0で引き分けた）先週の悔しさを忘れず、1週間練習してきた成果が出た。1年生レシーバーの先制点は予定通り。DLも相手QBを封じた。2試合連続完封も良かった」と選手たちをたたえた。殊勲の2TDのTE林は「TDは初めて。1本目はキャッチできてホッとした。2本目はエンドゾーンでDBと競り合いになったが、ここが頑張り時と思った」と興奮気味に振り返った。室蘭工業大の半沢伸太郎監督は「ライン戦で負けた。もっとやれると思っていたので悔しい」と残念がった。

（学連広報委員 塚田博）